

魅せます！
春日井
広報大使

春日井の魅力を市内外に発信するため、平成 26 年 4 月、12 組 13 人に委嘱した春日井広報大使。今回、1 月 22 日に新たに広報大使に就任した将棋の女流棋士・室田伊緒さんの魅力を伝えます。



公益社団法人日本将棋連盟 女流棋士

室田伊緒

Murota Iko

●プロフィール

11 歳から将棋を始め、平成 16 年、第 36 回女流アマ名人戦で優勝。平成 17 年から女流棋士として活躍。平成 27 年 6 月から日本将棋連盟棋士会副会長。春日井市出身。

子どもにも女性にも将棋の楽しさを伝えたい

女性や子どもにも人気

最近、将棋を指す人の裾野が広がってきたことを感じています。毎年全国各地で行われる「日本将棋シリーズテーブルマーク子ども大会」の参加者は年々増えて、昨年1年間で1万人を超えました。付き添いのお母さんも、昔は後ろから眺めているだけでしたが、駒の動かし方を覚えて一緒に指す人が増えてきました。

子どもが将棋を続けたいと感じるのは、勝つ喜びを感じるからです。始めたばかりの子と対戦するときには、手を緩めてあげてほしいと思います。

女性の興味を引くイベントを

私が高校1年生で女流棋士になったとき、周りに同世代の女の子は少なかったのですが、どんどん増えて、市内でも将棋の強い女の子たちが育っています。テレビのバラエティ番組などで“ひふみん”と呼ばれている加藤一二三九段や将棋を題材とした漫画などで親しみを感じていただいていると思います。

棋士として、1局でも多く勝ちたいと日々研究を重ねていますが、昨年6月から日本将棋連盟の副会

長となりましたので、女性がもっと将棋に興味を持つようなイベントの企画など普及にも力を入れていきたいと思っています。

どこからも来やすいまち春日井

春日井は、生まれ育ったまちなので、帰ってくると安心できますし、おいしいケーキや菓子を買える店が近くにあるのも魅力です。毎年4月に行われているサポテンフェアで購入したサポテンは、かわいらしくてとても気に入っています。また、春日井は、関西からも関東からも来やすい位置なので、イベントを行うときには、どちらの棋士も来ていただくことができます。実は同じ棋士でも東西で交流する機会は少ないので、良い機会にもなります。

対局やイベントで、全国各地を回っています。春日井市の名を知っていてもどのようなまちかは知らないという人が多いので、名刺を渡しながら、春日井の魅力を伝えていきたいと思っています。

